

平成27年度 農山漁村交流拠点整備委託業務

報告書

平成28年3月

沖縄県

(事業受託者:株式会社オリエンタルコンサルタンツ・株式会社アンカーリングジャパン共同企業体)

目 次

第1部 業務の概要

1. 1 事業の背景	1
1. 2 事業目的	1
1. 3 対象とするモデル組織	1
1. 4 事業の実施手順	4
1. 5 業務実施内容	5
1. 6 検討の流れ	6

第2部 「いいな3村」・「ヤンパク」における広域交流拠点体制の活動実証

2. 1 体験交流プログラムの実証(いいな3村)	8
2. 1. 1 体験交流プログラムの品質向上にかかる勉強会	8
2. 1. 2 体験ツアーの「魅力」造成研修会	13
2. 1. 3 今後の方向性	30
2. 2 3村連携体制によるコミュニティ・ビジネスの実証(いいな3村)	31
2. 2. 1 コミュニティ・ビジネスの販売戦略に関する勉強会	31
2. 2. 2 販売戦略会議の開催	37
2. 2. 3 試作品の作成	39
2. 2. 4 試作品の実証	43
2. 2. 5 今後の方向性	49
2. 3 広域連携組織の継続・展開に対する活動の促進(いいな3村)	50
2. 3. 1 活動促進の考え方	50
2. 3. 2 活動促進の実施概要	50
2. 3. 3 検討結果	53
2. 4 広域連携組織の継続・展開に対する活動の促進(ヤンパク)	55
2. 4. 1 活動促進の考え方	55
2. 4. 2 活動促進の実施概要	55
2. 4. 3 今後の連携方針	79

第3部 広域交流拠点モデル体制の確立に向けた普及活動

3. 1 実施目的	80
3. 2 実施概要	80
3. 3 作成結果	80

第4部 総括および今後の課題

第4部 総括および今後の課題	94
----------------	----

【参考】

参考資料1 いいな3村調整会議資料

参考資料2 いいな3村調整会議議事録

参考資料3 コミュニティビジネス勉強会資料

参考資料4 コミュニティビジネス勉強会議事録

参考資料5 体験交流プログラム勉強会・体験ツアーの「魅力」造成研修会資料

参考資料6 体験交流プログラム勉強会・体験ツアーの「魅力」造成研修会議事録

参考資料7 ヤンパク調整会議資料

参考資料8 ヤンパク調整会議議事録

第1部 業務概要

1.1 事業の背景

本県では「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」において、「亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興」を基本施策に、社会環境の変化に柔軟に対応するフロンティア型農業の振興策としてグリーン・ツーリズムを推進することとしている。

グリーン・ツーリズムは、都市住民が農山漁村の体験を通じ心身をリフレッシュする滞在型の余暇活動として、生き方の原点や農山漁村の魅力を見直す機会にもなっている。

このことから、農山漁村では、地域活性化を図る施策としてグリーン・ツーリズムに取り組むことで、都市住民との交流を通じ、地域農産物等物流の拡大や定住促進、景観保全等が図られているところである。

1.2 事業目的

本事業では、グリーン・ツーリズムを活用した修学旅行等の大規模な受け入れに対応するため、受入調整や点在する地域資源の情報発信不足等の課題を解決できる環境を整えることを目的に、広域の受け入れ体制モデルづくりを実施する。

今年度は、26 年度までの事業実績を踏まえ、モデル地域における広域交流拠点（以下、交流拠点）の体制のあり方や運用方法等の検討及び総合窓口として必要な企画の構築や商品の企画、情報発信等の取り組みを実施し、習得を図った。具体的には、体験メニューの企画力の強化やコミュニティ・ビジネスによる販売戦略立案の習得を図った。

1.3 対象とするモデル組織

本事業全般としては以下の2箇所のモデル組織を対象とする。このうち本報告においては、「(1) 本島地域の広域交流拠点体制モデル」を対象として、拠点体制整備に向けた検討を行った。

(1) 本島地域の広域交流拠点体制モデル（国頭村、大宜味村、東村：以下ヤンパク）

(2) 離島地域の広域交流拠点体制モデル（伊平屋村、伊是名村、今帰仁村：以下いいな3村）

【平成 26 年度成果】

(1) ヤンパク

1) 3村合同ネットワーク会議の実施

- 広域の受け入れ体制モデルづくりとなる本年度の検討を推進するにあたり、3村における情報の共有および合意形成を図る場として、3村合同ネットワーク会議を計5回開催した。

2) 3村体験交流プログラムのモニター等体験実証及び改善策の検討

- モニター体験会等を開催し、3村体験交流プログラムのモニター等体験の実証および改善策の検討を行った。

① 3村体験交流プログラムのモニター等体験の実施

- やんばる3村のうち国頭村をフィールドに設定し、3村体験交流プログラムのモニター体験会を実施した。

② 体験交流プログラムの検証

- 1) で実施したモニター体験会を通じて、今後、3村で取り組み体験交流プログラムの検証を行った。検証にあたっては、旅行会社、教育関係者、体験プログラムの専門をアドバイザーとして招へいし、座談会を開催した。

3) コミュニティ・ビジネスの販売戦略立案の習得

- コミュニティ・ビジネスの販売戦略の検討として、コミュニティ・ビジネスに関する勉強会を開催し、戦略立案の習得に向けた検討を実施した。
- 勉強会の開催にあたっては、販売戦略検討に関する知見を有した専門家を招へいし、計3回の勉強会を通じて販売戦略立案に必要な知見の習得を図った。

4) 事業継続・展開に向けた地域ブランドづくりの基礎検討

- これまでの検討結果をもとに、次年度以降の事業継続・展開に向けた基礎検討として、広域連携体制の運用に向けた地域課題の把握し、組織運営の方向性や、3村体験交流プログラムおよびコミュニティ・ビジネスの実践を含めた今後取り組むべきメニューの検討を実施した。

(2) いいな3村

1) いいな3村における離島間の補完的連携体系の整理

- 離島間の広域拠点体制を具体化するために、拠点としての目的やルールづくり等を整理し、補完機能を担える拠点組織の立ち上げのコーディネートを行った。具体的には、地域ブランドの観点から3村連携のコンセプトを検討し3村連携で共有する“価値観”について検討し、合意した。
- さらには、3村の関係者により構成される協議会組織「いいな連携ネットワーク」の立ち上げを行うこととした。
- 今後は、持続的に拠点が機能していけるような、コーディネーター人材の発掘・育成が課題となる。

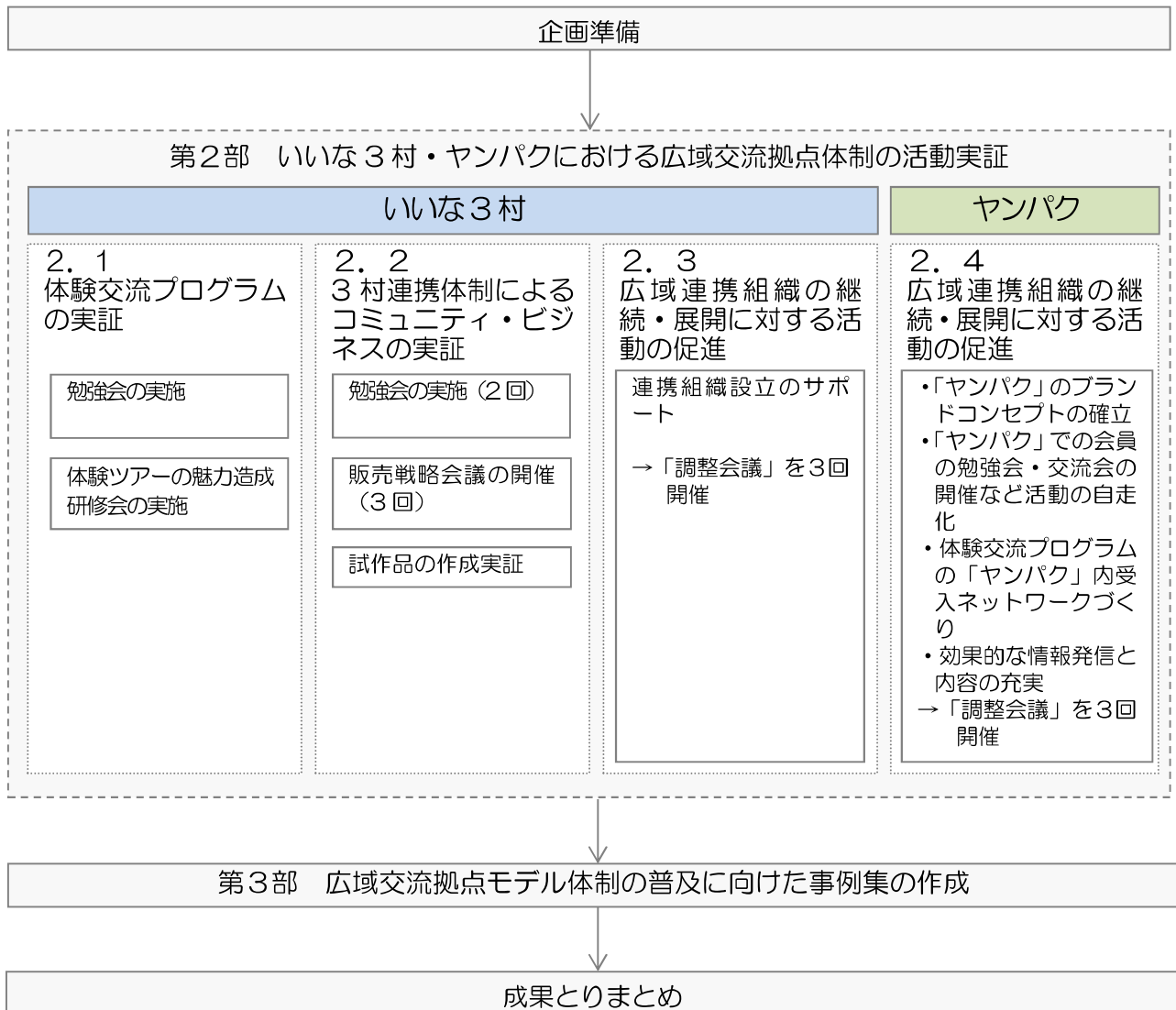
2) いいな3村共通体験メニューのプログラム開発

- いいな3村の連携において提供する共通の体験プログラムを開発し、開発の考え方、開発過程およびその結果について取りまとめた。具体的には、3村連携のコンセプトを踏まえ3案の体験プログラムの素案を作り、最終的には稲刈り体験を共通プログラムとして取りまとめた。
- 今後は、現時点で素案となっているプログラムのブラッシュアップや、体験メニューのモニター試行によるブラッシュアップといった方法論の習得や、今回基礎検討した地域ブランドを踏まえた新規商品の検討が課題となる。

3) いいな3村連携によるコミュニティ・ビジネスの検討

- いいな3村の広域交流拠点体制の自立的な運営に向けて、実施できうるビジネス内容を検討し、検討の考え方や検討過程について取りまとめた。
- 具体的には、3村連携のコンセプトを踏まえ3案のコミュニティビジネスの素案を作り、最終的には「3村の特産品を使用したおむすびの販売」をコミュニティビジネス案として取りまとめた。
- 今後は、今回検討したビジネス案の事業化に向けたブラッシュアップや、今回基礎検討した地域ブランドを踏まえた新規ビジネスの検討が課題となる。

1. 4 事業の実施手順



1. 5 業務実施内容

(1) 「いいな3村」・「ヤンパク」における広域交流拠点体制の活動実証

1) 体験交流プログラムの実証(いいな3村)

「①体験交流プログラムの品質向上にかかる勉強会」および「②体験ツアーの「魅力」造成研修会」を開催した。

「①体験交流プログラムの品質向上にかかる勉強会」では旅行エージェント等を活用し、体験交流プログラムのリスク対策などの勉強会を開催した。また、ツアープログラム案に対して、実施に向けた課題整理を行った。「②体験ツアーの「魅力」造成研修会」では3村連携による体験プログラムやツアープログラム案についてプログラムの魅力化や発信方法について研修会を実施した。

2) 3村連携体制によるコミュニティ・ビジネスの実証(いいな3村)

コミュニティ・ビジネスの販売戦略に関する勉強会を2回開催した。勉強会では、コミュニティ・ビジネスに精通した専門家を招聘し、販売戦略立案の習得および実施結果に対する分析・検証を行い、対策案などを検討した。

また、コミュニティ・ビジネスの検討にあたり販売戦略会議を開催し、試作品・パッケージを作成するとともに、消費者モニターによる評価を得た。

3) 広域連携組織の継続・展開に対する活動の促進(いいな3村)

広域連携組織の持続・展開施策として、「いいな3村」の連携組織設立のサポートを実施した。具体的には、前年度に合意が得られた、「いいな3村」の連携組織設立に向け、企画・調整を行った。

4) 広域連携組織の継続・展開に対する活動の促進(ヤンパク)

広域連携組織の持続・展開施策として、「ヤンパク」のブランド・コンセプトを確立した。また、「ヤンパク」における会員の勉強会・交流会の開催等の活動の自走化や、体験交流プログラムの「ヤンパク」内の受入れネットワークづくり、効果的な情報発信と内容の充実などの「ヤンパク」体制を強化する取組について検討を行った。

(2) 広域交流拠点モデル体制の確立に向けた普及活動

広域交流拠点体制のあり方及び具体的な組織化の方策について、広域交流拠点の本島地域モデルである「ヤンパク」及び離島地域モデル「いいな3村」の体制づくりのプロセスについてグリーン・ツーリズムに取り組む団体、実践者に紹介する事例集を作成した。

1. 6 検討の流れ

本事業の推進にあたっては、3村におけるグリーン・ツーリズムの関係者である以下の主体とともに連携のあり方や今後の実施事項について討議・検討を行った。

(1) いいな3村

- ①伊平屋村 : 伊平屋村 総合推進室、農林水産課
伊平屋島観光協会
- ②伊是名村 : 伊是名村 商工観光課、農林水産課
一般社団法人いぜな島観光協会
- ③今帰仁村 : 今帰仁村 経済課商工観光係、農政係
一般社団法人今帰仁村観光協会

本年度、いいな3村において開催した、会議等の開催概要を以下に示す。また、各回の「会議資料」および「会議議事録」を参考資料に添付する。

表1-1 いいな3村調整会議

回数	日程	場所	参加者
第1回	平成27年9月29日(火) 11:00~12:30	運天港フェリーターミナル 1階	3村行政・実践者、 県、受託事業者
第2回	平成28年1月22日(金) 15:00~17:30	今帰仁村 あいあいファーム セミナールーム	3村行政・実践者、 県、受託事業者
第3回	平成28年3月8日(火) 9:00~12:00	今帰仁村 あいあいファーム セミナールーム	3村行政・実践者、 県、受託事業者

表1-2 体験交流プログラム勉強会・体験ツアーの魅力造成研修会

回数	日程	場所	参加者
第1回	平成27年10月13日(火) 13:30~17:30	伊平屋村 前泊港ターミナル 2階 多目的ホール	3村行政・実践者、 講師、県、受託事業者
第2回	平成28年3月7日(月) 12:30~17:00	あいあいファーム セミナールーム	3村行政・実践者、 講師、県、受託事業者

表1-3 コミュニティ・ビジネス勉強会

回数	日程	場所	参加者
第1回	平成27年10月14日(水) 9:00~12:00	伊平屋村 前泊港ターミナル 2階 多目的ホール	3村行政・実践者、 講師、県、受託事業者
第2回	平成27年12月11日(金) 13:30~17:00	伊是名村 伊是名区公民館	3村行政・実践者、 講師、県、受託事業者

(2) ヤンパク

- ①国頭村 : 合同会社結くにかみ
- ②大宜味村 : NPO 法人おおぎみまるごとツーリズム協会
- ③東村 : NPO 法人東村観光推進協議会

本年度、ヤンパクにおいて開催した、会議等の開催記録を以下に示す。また、各回の「会議資料」および「会議議事録」を参考資料に添付する。

表1-4 ヤンパク調整会議

回数	日程	場所	参加者
第1回	平成27年9月15日(火) 17:00~18:30	ぶながや館会議室	3村実践者、 県、受託事業者
第2回	平成27年10月27日(火) 13:30~17:30	ぶながや館会議室	3村実践者、 県、受託事業者
第3回	平成27年12月25日(金) 15:00~18:00	つつじエコパーク 会議室	3村実践者、 県、受託事業者
第4回	平成28年3月15日(火) 14:00~16:00	大宜味村農村環境 改善センター	3村行政・実践者、 県、受託事業者

表1-5 沖縄県地域子ども農山漁村交流プロジェクトセミナー(交流会)

日程	場所	参加者
平成28年3月4日(金) 18:00~21:00	大宜味村農村環境 改善センター	3村実践者、自治体職員、 教育委員会職員、学校教 職員、教育や地域づくりに 関心のある方々